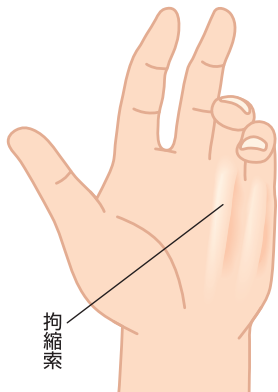


デュピュイトラン拘縮



徐々に指が曲がり、伸ばしにくくなる「デュピュイトラン拘縮（こうしゅく）」について、「たいら手の外科・整形外科」の平良貴志先生に聞きました。

「どんな病気ですか？」

「手のひらの皮膚のすぐ下にある手掌腱膜という組織が硬くなり、指が曲がったまま伸ばせなくなる病気です。小指、薬指に多く発症し、手のひらに索状のしこり（拘縮索）を認めます。通常痛みはありませんが、症状が進行すると、握手や拍手ができない、洗顔時に指が目に入るなど、日常生活に支障が出る場合があります。また、糖尿病の既往のある人は、この病気になるやすい傾向があります」

「治療法は？」

「指が伸ばせなくても、日常生活に支障がなければ、そのまま様子を見て構いません。日常生活に支障が出るようなら治療が必要です。ひとつの目安として拍手ができなくなったから治療を開始した方がよいでしょう。」

当院では、注射と手術による治療を行っています。注射による治療は、たんばく質を溶かす働きがあるコラゲナーゼ（クロストリジウム ヒストリチウム）という薬剤を患部に注射し、拘縮索を溶かして指を伸ばします。手術による治療は、皮膚を切開し、硬くなった腱膜を除去します。注射、手術それぞれに利点とリスクがあるので、治療開始の時期も含めて医師とよく相談し、症状が悪化しないうちに治療を始めましょう」

休診日:金・日曜、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	/	●	/
14:00~17:30	●	●	●	●	/	●	/

院長:平良貴志  
日本整形外科学会認定  
整形外科専門医

☎042-587-5530

日野市石田2-9-17  
多摩モノレール「万願寺」駅  
下車徒歩3分

